第八講　文学史❸

１　中世（鎌倉・南北朝・室町・安土桃山時代）②

【軍記物語】

『将門記（しょうもんき）』…平安時代後期成立。漢文体。「平将門の乱」を描く。

『陸奥話記（むつわき）』…平安時代末期成立。漢文体。「前九年の役」を描く。

『保元物語』…鎌倉時代初期成立。和漢混交文体。「保元の乱」源為朝（みなもとのためとも）中心。

『平治物語』…鎌倉時代初期成立。和漢混交文体。「平治の乱」悪源太義平（あくげんたよしひら）中心。

『平家物語』…鎌倉時代前期成立。和漢混交文体。
平家一門の繁栄と滅亡を描いたもの。仏教的無常観。

〈冒頭文〉「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらはす。おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者も遂にはほろびぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。…」

＊「平曲」＝盲目の琵琶法師が琵琶に合わせて『平家物語』を語った音曲。

＊『源平盛衰記（げんぺいじょうすいき（せい））』作者＝信濃前司行長（しなののぜんじゆきなが）か？（→『平家物語』の異本と言われている。）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『太平記』…**南北朝時代**成立。作者＝小島法師。和漢混交文体。**「南北朝の争乱」**を描く。**太平記読み**（近世に民間で講釈されたときの語り手）・**道行文**（旅の情景を記す文章。七五調。掛詞・縁語を多く用いる）が有名。

『曾我物語』…**南北朝初期**成立。曾我兄弟が父の敵を十八年かかって討つ話。

『義経記』…**室町時代初期**成立。源義経の一代記。兄頼朝との不仲で敗北するまでを描く。**「判官びいき」**（悲劇の英雄に対する同情）の言葉が生まれる。

〈演習問題❶〉

問1　次の中からジャンルの違う作品を選べ。

ア　源平盛衰記　イ　太平記　ウ　保元物語　エ　平中物語　オ　曽我物語

問2　『平家物語』と同じく、軍記物語に分類される作品を次の中から選べ。

ア　源氏物語　イ　方丈記　ウ　雨月物語　エ　宇治拾遺物語　オ　義経記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　『平治物語』と同じジャンルの古典作品を、次の中から選べ。

ア　太平記　　イ　明月記　　ウ　方丈記　　エ　神皇正統記　　オ　古事記

問4　『源平盛衰記』と同じジャンルに属する作品を一つ選べ。

ア　土佐日記　　イ　日本霊異記　　ウ　太平記　　エ　神皇正統記

問5　源義経と最も関係の深い著述を、次の中から選べ。

ア　大鏡　　イ　平家物語　　ウ　今昔物語集　　エ　日本書紀　　オ　太平記

問6　『吉野拾遺』は、後村上天皇時代を中心とする南朝関係の逸話を集めている。鎌倉幕府の滅亡から後醍醐天皇による新政権を経て、室町幕府設立・南北朝対立にいたる内乱を描いた軍記物語を漢字で記せ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【日記・紀行】（京・鎌倉間の紀行文が多い）

『**海道記**』…**一二二三年**成立。京・鎌倉間の紀行文。和漢混交文体。

『**建礼門院右京大夫集**』…**一二三三年**頃成立。作者＝**建礼門院右京大夫**（＝**建礼門院徳子**に仕えた。）
平資盛との恋愛・別れの歌日記。

『**東関紀行**』…京・鎌倉間の紀行文。鎌倉滞在中も記載あり。和漢混交文体。

『**十六夜日記**』…作者＝**阿仏尼**。訴訟のために鎌倉に下った紀行文　→※中古の【日記】（83ページ）参照

『**とはずがたり**』…**一三一三年**頃成立。作者＝**後深草院二条**。
「前半」＝後深草院に寵愛された様子などの宮中の日記。
「後半」＝西行に憧れ出家をし、諸国を旅する紀行日記。

【随筆】

『**方丈記**』…**鎌倉時代初期**（**一二一二年**）成立。作者＝**鴨長明**。**仏教的無常観**。和漢混交文体。〈**暗**〉

『**徒然草**』…**鎌倉時代末期**（**一三三〇年**）成立。作者＝**吉田兼好**。**論理的**。儒教・老荘思想の影響有。〈**明**〉

※ともに中世の「**隠者文学**」の代表作。永久不変のものはないという**無常観**。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「三大随筆」

『枕草子』…平安時代。清少納言。
〈冒頭文〉**「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは…」**

『方丈記』…鎌倉時代初期。鴨長明（賀茂神社の神官の子。**『無名抄』『発心集』**の作者）。
〈冒頭文〉**「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にはあらず。…」**

『徒然草』…鎌倉時代末期。吉田兼好（吉田神社の神官の子）。
〈冒頭文〉**「つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひて…」**

〈演習問題❷〉

問１　阿仏尼の作品を一つ選べ。

ア　更級日記　　イ　十六夜日記　　ウ　雨月物語　　エ　海道記

問２　『発心集』と同じ作者の作品を、次の中から一つ選べ。

ア　古事記　　イ　玉勝間　　ウ　徒然草　　エ　方丈記　　オ　枕草子

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　『海道紀』は貞応二年（一二二三）四月に京都から鎌倉に向かった旅を綴った紀行文である。この作品と最も近い時期に成立したものを、次から二つ選べ。

ア　日本永代蔵　イ　新古今和歌集　ウ　奥の細道　エ　源氏物語
オ　方丈記　カ　土佐日記　キ　伊勢物語　ク　風姿花伝

問4　『発心集』の編者とされる人物とほぼ同時期に活躍した人物を二人、次の中から選べ。

ア　兼好　イ　藤原定家　ウ　紀貫之
エ　平康頼　オ　菅原孝標女　カ　後深草院二条

問5　鴨長明はいつの時代の人か。また、代表作は何か。次の中から選べ。

「時代」ア　室町後期　イ　鎌倉後期　ウ　南北朝　エ　室町前期　オ　鎌倉前期
「作品」ア　明月記　イ　撰集抄　ウ　歎異抄　エ　発心集　オ　往生要集

問6　高倉天皇の中宮に仕え、平家の公達の一人と恋愛し、後には後鳥羽天皇にも仕えた女房歌人は誰か。次の中から選べ。

ア　阿仏尼　イ　和泉式部　ウ　右京大夫　エ　讃岐典侍　オ　六条御息所

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問7　『○○○○右京大夫集』の○に、この作品の作者が仕えた平家ゆかりの人の呼び名を漢字四字で書け。

問8　「鴨長明とか吉田兼好とかいう世捨人」について。

A　彼らの作品と、同時代に成立した作品を次の中から選べ。

ア　枕草子　イ　十六夜日記　ウ　更級日記　エ　雨月物語　オ　玉勝間

B　「世捨人」と同じような意味を持つ言葉を、次の中から選べ。

ア　文人　イ　隠者　ウ　漂泊者　エ　墨客　オ　浪人

問9　『徒然草』とほぼ同じ時代に成立した作品を、次の中から一つ選べ。

ア　方丈記　イ　宇治拾遺物語　ウ　枕草子　エ　神皇正統記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　近世（江戸時代）

〈前期〉**上方文学**…関西で栄える。
　「元禄三人男」＝**松尾芭蕉**（まつおばしょう）**（俳諧）**・**井原西鶴**（いはらさいかく）**（浮世草子**（うきよぞうし）**）**・**近松門左衛門**（ちかまつもんざえもん）**（浄瑠璃**（じょうるり）**）**

〈後期〉**江戸文学**…**読本・国学**など多様化する。

【浮世草子】

井原西鶴…大阪の町人。談林（だんりん）派・西山宗因（にしやまそういん）の弟子。矢数俳諧（やかずはいかい）（限られた時間内でできる限りの数の句を作る）で活躍。
　後に**浮世草子**（上方を中心とした小説）作家。

『好色一代男』（こうしょくいちだいおとこ）…**浮世草子第一作**。主人公・世之介の一生の好色生活を描く。

『好色五人女』…**「お夏清十郎」**（なつせいじゅうろう）など五つの恋愛事件を描く。

『日本永代蔵』（にっぽんえいたいぐら）…**町人物の最初の作品**。町人が才覚と倹約により**分限者**（ぶげんしゃ）**（お金持ち）**になる話。

『世間胸算用』（せけんむねさんよう）…**作者の最高傑作・町人物の代表作品**。**大晦日を舞台**として**町人の様子**を描く。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【俳諧】

松尾芭蕉…京で**貞門派**（**松永貞徳**の一派）を学び、**江戸**に下った後、**談林派**を学ぶ。
その後、深川の芭蕉庵に住み、俳諧師として確立。**蕉風**＝**閑寂の境地**（**わび・さび・軽み**）を目指す。
『野ざらし紀行』『冬の日』『笈の小文』『更科紀行』『猿蓑』など。

『奥の細道』…**俳諧紀行文学の最高傑作**。弟子の**曾良**を伴って江戸→奥州→北陸→大垣を巡る旅行記。

〈名句〉**閑かさや岩にしみ入る蟬の声**　／　**五月雨をあつめて早し最上川**
夏草や兵どもが夢の跡　など

●**蕉門**＝芭蕉の門下。
向井去来＝『**去来抄**』／**服部土芳**＝『**三冊子**』
※二作品ともに、芭蕉が求めた「*__不易流行__」の説が記述されている。
＊不易＝**不変**。　／　**流行**＝**はやり**。

与謝蕪村…江戸で**俳諧・文人画**を学ぶ。『**春風馬堤曲**』『**新花摘**』の作者。

〈名句〉**春の海終日のたりのたり哉**

小林一茶…江戸で俳諧を学ぶ。『**おらが春**』で自分の体験を表現。

〈名句〉雪とけて村一ぱいの子ども哉

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【近世小説】

御伽草子（おとぎぞうし）（室町時代）→**仮名草子**（かなぞうし）（江戸中期）→**読本**（よみほん）（江戸後期）→**洒落本**（しゃれぼん）→**滑稽本**
　　→**人情本**（恋愛小説）

→**草双紙**（くさぞうし）（江戸中期）→**赤本**（子供向け）→**黒本・青本**（大人向け）→**黄表紙**→**合巻**（ごうかん）

【仮名草子】

『伊曾保物語』（いそほものがたり）…『イソップ物語』の文語訳本。

【読本】

上田秋成（うえだあきなり）…大阪出身。浮世草子作家・読本作家・国学者・歌人・医学者。**『雨月物語』『春雨物語』**など。

『雨月物語』（うげつものがたり）…一七六八年成立。前期読本の代表作品。中国や日本の怪異物語集。

滝沢馬琴（たきざわばきん）…**山東京伝**（さんとうきょうでん）の弟子、後期読本代表作家。**『南総里見八犬伝』**（なんそうさとみはっけんでん）**『椿説弓張月』**（ちんせつゆみはりづき）など。

【洒落本】…遊里を舞台に風俗を描いた小説。寛政の禁令により取り締まりを受け衰える。**山東京伝**が有名。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【滑稽本】…笑いの要素。
『東海道中膝栗毛』（とうかいどうちゅうひざくりげ）…作者＝**十辺舎一九**（じっぺんしゃいっく）。**弥次郎兵衛**（やじろべえ）・**喜多八**（きたはち）の珍道中。
『浮世風呂』（うきよぶろ）『浮世床』（うきよどこ）…作者＝**式亭三馬**（しきていさんば）。庶民の生活を笑いを交えて描く。

【人情本】…恋愛小説。『春色梅児誉美』（しゅんしょくうめごよみ）（作者＝**為永春水**（ためながしゅんすい））が有名。

【黄表紙】…草双紙の一種。絵入り通俗小説。**黄表紙の祖**＝**『金々先生栄花夢』**（作者＝恋川春町）。

【合巻】…黄表紙を数冊合冊にした体裁のもの。**『偐紫田舎源氏』**（にせむらさきいなかげんじ）（作者＝柳亭種彦）。

【浄瑠璃】…特に三味線と人形を使った芝居を「**人形浄瑠璃**」という。

近松門左衛門…**竹本義太夫**（たけもとぎだゆう）のために**『出世景清』**（しゅっせかげきよ）を書き、その後**坂田藤十郎**（さかたとうじゅうろう）と**世話歌舞伎**を確立。
『曾根崎心中』（そねざきしんじゅう）で大好評を得て、浄瑠璃作家の地位を確立。

『曾根崎心中』…一七〇三年成立。竹本座で上演。作者の代表作品。醤油屋（平野屋）の手代（てだい）徳兵衛と遊女お初が、大阪の曽根崎天神の森で心中する悲恋物語。

『国姓爺合戦』（こくせんやかっせん）…**国姓爺**（日本と明の混血児）が、明朝を復興する話。

『冥途の飛脚』（めいどのひきゃく）…飛脚問屋と遊女の悲恋物語。

鶴屋南北（つるやなんぼく）…**『東海道四谷怪談』**（とうかいどうよつやかいだん）の作者。お岩が怨霊となり夫に復讐する話。歌舞伎のもと。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【随筆】

『花月草紙（かげつそうし）』…作者＝**松平定信（まつだいらさだのぶ）**（寛政の改革の実行者）。

『玉勝間（たまかつま）』…作者＝**本居宣長（もとおりのりなが）**。**国学者**。江戸時代の代表随筆作品。『徒然草』の兼好を批判。

『折（おり）たく柴（しば）の記（き）』…作者＝**新井白石（あらいはくせき）**。自らの一代記。

【国学】

契沖（けいちゅう）→荷田春満（かだのあずままろ）→賀茂真淵（かものまぶち）→本居宣長（もとおりのりなが）

『万葉代匠記（まんようだいしょうき）』…作者＝**契沖**。

賀茂真淵…県居（あがたい）と号す。**荷田春満の弟子**。**本居宣長の師**。歌人としても有名。
『万葉考』、『歌意考』、『祝詞考（のりとこう）』、『冠辞考（かんじこう）』など。

『万葉考』…「**ますらをぶり**」提唱。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

本居宣長…鈴屋(すずのや)と号す。歌人でもある。国学・漢学・医学を学ぶ。**契沖に私淑**。
賀茂真淵の弟子。**国学の第一人者**。
『**古事記伝**』、『**源氏物語玉の小櫛**』、『**玉勝間**』（随筆）、『**鈴屋集**』（歌集）、など。
『**古事記伝**』…『古事記』の研究本。
『**源氏物語玉の小櫛**』…『源氏物語』の本質を「**もののあはれ**」と説く。

※その他の国学者＝**平田篤胤**(ひらたあつたね)・**村田春海**(はるみ)など。

〈演習問題❸〉

問１　江戸時代、『源氏物語』の「もののあはれ」を高く評価し、『源氏物語玉の小櫛』などの注釈書を著した古典学者を、次の中から選べ。

ア　本居宣長　　イ　上田秋成　　ウ　山東京伝　　エ　滝沢馬琴　　オ　藤原定家

問２　次の中から本居宣長の作品を一つ選べ。

ア　万葉代匠記　　イ　玉勝間　　ウ　折たく柴の記　　エ　花月草子　　オ　琴後集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問3　本居宣長の作品でないものを次の中から一つ選べ。

ア　古事記伝　イ　雨月物語　ウ　源氏物語玉の小櫛　エ　うひ山ぶみ　オ　玉勝間

問4　曲亭馬琴と同時期の作者を次の中から選べ。

ア　近松門左衛門　イ　十返舎一九　ウ　井原西鶴　エ　松尾芭蕉　オ　鴨長明

問5　『折たく柴の記』の作者を次の中から選べ。

ア　鴨長明　イ　新井白石　ウ　荻生徂徠　エ　契沖

問6　『春雨物語』の作者を次の中から選べ。

ア　井原西鶴　イ　上田秋成　ウ　山東京伝　エ　柳亭種彦　オ　曲亭馬琴

問7　上田秋成とほぼ同時代の人物を次の中から一人選べ。

ア　紀貫之　イ　兼好法師　ウ　松尾芭蕉　エ　紫式部　オ　本居宣長

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問8　次のア〜オのうち、与謝蕪村の発句ではないものを一つ選べ。

ア　愁ひつつ岡にのぼれば花いばら　　イ　五月雨や大河を前に家二軒
ウ　菜の花や月は東に日は西に　　エ　五月雨をあつめてはやし最上川
オ　春の海終日（ひねもす）のたりのたりかな

問9　次の中から江戸時代に成立した作品ではないものを一つ選べ。

ア　玉勝間　　イ　曾根崎心中　　ウ　世間胸算用　　エ　無名草子　　オ　野ざらし紀行

問10　『おくのほそ道』と最も関係の深い俳人を、次の中から二人選べ。

ア　去来　　イ　其角　　ウ　芭蕉　　エ　宗因　　オ　曾良

問11　『好色五人女』の作者と同時期に活躍した人物は誰か。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　十返舎一九　　イ　与謝蕪村　　ウ　鶴屋南北　　エ　曲亭馬琴　　オ　近松門左衛門

問12　『新花摘』の作者を選べ。

ア　西鶴　　イ　芭蕉　　ウ　去来　　エ　蕪村　　オ　一茶

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問13　松尾芭蕉の作品でないものを、左から一つ選べ。

ア　野ざらし紀行　　イ　鹿島詣　　ウ　笈の小文　　エ　更科紀行　　オ　東関紀行

問14　近松門左衛門の作品名を次の中から一つ選べ。

ア　好色一代男　　イ　仮名手本忠臣蔵　　ウ　曾根崎心中　　エ　東海道中膝栗毛　　オ　傾城禁短気

問15　只野真葛は、宝暦十三年（一七六三）に生まれ、文政八年（一八二五）に没した。次の文章は、この時代の文学作品について述べたものである。文中の空欄にあてはまるものを後の【語句】の中から選べ。

この時代の代表的な作品として、恋川春町の書いた『金々先生栄花夢』があり、それは（１）の祖とされる。ほぼ同時期に、上田秋成によって書かれた（２）は、中国小説に題材をとった怪談・奇談九編からなる作品で（３）と呼ばれるジャンルに分類される。また、（４）の著した『東海道中膝栗毛』は（５）に分類される。

【語句】　ア　花月草紙　　イ　十返舎一九　　ウ　仮名草子　　エ　雨月物語　　オ　式亭三馬
カ　読本　　キ　椿説弓張月　　ク　人情本　　ケ　山東京伝　　コ　黄表紙
サ　滑稽本　　シ　為永春水

１＝　　２＝　　３＝　　４＝　　５＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈総合演習問題〉

問1　『源氏物語』と同じく作者が女性である作品を、次の中から二つ選べ。

ア　土佐日記　　イ　更級日記　　ウ　発心集　　エ　建礼門院右京大夫集　　オ　沙石集

問2　『枕草子』とは異なるジャンルの作品を次の中から一つ選べ。

ア　方丈記　　イ　花月草紙　　ウ　十訓抄　　エ　折たく柴の記　　オ　徒然草

問3　『堤中納言物語』と同じジャンルの作品を、次の中から選べ。

ア　大和物語　　イ　源氏物語　　ウ　栄花物語　　エ　宇治拾遺物語　　オ　平家物語

問4　冒頭が「今は昔」で始まる作品を、次の中から選べ。

ア　伊勢物語　　イ　大鏡　　ウ　更級日記　　エ　竹取物語　　オ　徒然草

問5　『堤中納言物語』は、平安時代後期から鎌倉時代初期ごろに成立したと考えられる短編物語集である。次のうち『堤中納言物語』よりも成立の遅れる作品を一つ選べ。

ア　伊勢物語　　イ　奥の細道　　ウ　源氏物語　　エ　古今和歌集

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問6　次の中から平安時代の作品でないものをすべて選べ。

ア　大和物語　　イ　石清水物語　　ウ　落窪物語　　エ　堤中納言物語　　オ　春雨物語

問7『源氏物語』とほぼ同時代に成立した作品を次の中から一つ選べ。

ア　今昔物語集　　イ　新古今和歌集　　ウ　和漢朗詠集　　エ　古今著聞集　　オ　万葉集

問8『うつほ物語』のことは、『枕草子』『源氏物語』などに言及がみられる。『うつほ物語』よりもあとに成立した作品を、次の中から選べ。

ア　大鏡　　イ　蜻蛉日記　　ウ　後撰和歌集　　エ　日本霊異記　　オ　平中物語

問9『更級日記』以降に成立した作品を次の中から選べ。

ア　源氏物語　　イ　蜻蛉日記　　ウ　宇治拾遺物語　　エ　日本霊異記　　オ　古今和歌集

問10『建礼門院右京大夫集』と成立の時代が近い作品を、次の中から二つ選べ。

ア　栄花物語　　イ　蜻蛉日記　　ウ　山家集　　エ　世間胸算用

オ　曽根崎心中　　カ　方丈記　　キ　大和物語

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11『発心集』と同じころに成立した文学作品として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　徒然草　イ　雨月物語　ウ　風姿花伝　エ　大鏡　オ　新古今和歌集

問12『十訓抄』とほぼ同時期に成立した作品として最も適当なのを、次の中から選べ。

ア　今昔物語集　イ　折たく柴の記　ウ　古今著聞集
エ　竹取物語　オ　新古今和歌集

問13南北朝時代以前に成立したとみられる作品を、次の中からすべて選べ。

ア　奥の細道　イ　大鏡　ウ　和漢朗詠集　エ　蜻蛉日記　オ　好色一代男
カ　雨月物語　キ　万葉集　ク　世間胸算用　ケ　源氏物語　コ　新古今和歌集

問14『古本説話集』は、十二世紀頃の成立とされているが、同じ頃に成立した作品を次の中から選べ。

ア　千載和歌集　イ　徒然草　ウ　源氏物語　エ　十訓抄　オ　風姿花伝

問15『鼠草紙絵巻』は十六世紀の作とされている。同世紀に成立した作品を次の中から一つ選べ。

ア　太平記　イ　徒然草　ウ　とはずがたり　エ　閑吟集　オ　十六夜日記

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問16　『太平記』は十四世紀に成立した軍記物語である。次の中から『太平記』と最も近い時期に成立したものを二つ選べ。

ア　今昔物語集　　イ　奥の細道　　ウ　枕草子　　エ　徒然草
オ　菟玖波集　　カ　日本霊異記　　キ　雨月物語　　ク　大鏡

問17　平安時代の終わり頃に書かれた『有明の別れ』の成立時期から最も離れた作品を、次の中から一つ選べ。

ア　古今和歌集　　イ　新古今和歌集　　ウ　源氏物語
エ　宇治拾遺物語　　オ　方丈記　　カ　徒然草

問18　『松浦宮物語』は藤原定家の作品と考えられている。次のA～Eの作品を年代の古い順に並べたものとして正しいものを、後の中から選べ。

A　源氏物語　　B　伊勢物語　　C　松浦宮物語
D　狭衣物語　　E　石清水物語

ア　E→B→A→C→D
イ　D→E→B→A→C
ウ　B→A→D→C→E
エ　B→A→C→E→D
オ　E→D→B→A→C

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　復習問題

①『平治物語』と同じジャンル（部類）の作品を次の中から一つ選べ。

ア　とはずがたり　イ　無名草子　ウ　太平記　エ　堤中納言物語　オ　雨月物語

②『海道記』は貞応二年（一二二三）の成立と言われている。これと最も成立年代の近い作品を次の中から選べ。

ア　徒然草　イ　太平記　ウ　今昔物語集　エ　更級日記　オ　方丈記

③本居宣長の作品として正しいものを、次の中から選べ。

ア　世間胸算用　イ　源氏物語玉の小櫛　ウ　曽根崎心中　エ　雨月物語　オ　東海道中膝栗毛

④賀茂真淵は国学者である。次の中から国学者を一人選べ。

ア　本居宣長　イ　末広鉄腸　ウ　幸田露伴　エ　井原西鶴　オ　藤原定家

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「芭蕉」の著作を次の中から一つ選べ。

ア　奥の細道　イ　誹風柳多留　ウ　東海道中膝栗毛　エ　南総里見八犬伝　オ　方丈記

⑥次の中から、本居宣長に深くかかわるものを二つ選べ。

ア『源氏物語玉の小櫛』　イ『万葉代匠記』　ウ『うひまなび』
エ「ますらをぶり」　オ「もののあはれ」

⑦次の中から、国学者でないものを一人選べ。

ア　契沖　イ　荷田春満　ウ　賀茂真淵　エ　鶴屋南北　オ　平田篤胤

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　模範解答

〈演習問題❶〉

問1 エ　問2 オ　問3 ア　問4 ウ　問5 イ　問6 太平記

〈演習問題❷〉

問1 イ　問2 エ　問3 イ・オ　問4 イ・エ　問5 時代 オ　作品 エ
問6 ウ　問7 建礼門院　問8 A イ　B イ　問9 エ

〈演習問題❸〉

問1 ア　問2 イ　問3 イ　問4 イ　問5 イ　問6 イ
問7 オ　問8 エ　問9 エ　問10 ウ・オ　問11 オ　問12 エ
問13 オ　問14 ウ　問15 1 コ　2 エ　3 カ　4 イ　5 サ

〈総合演習問題〉

問1 イ・エ　問2 ウ　問3 イ　問4 エ　問5 イ
問6 イ・オ　問7 ウ　問8 ア　問9 ウ　問10 ウ・カ
問11 オ　問12 ウ　問13 イ・ウ・エ・キ・ケ・コ　問14 ア
問15 エ　問16 エ・オ　問17 ア　問18 ウ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講　解答解説

〔解説〕

① 『平治物語』は「軍記物語」。選択肢の中で「軍記物語」はウ『太平記』。よって、正解はウ。

② 一二一三年に近い作品は、「一二一二年」のオ『方丈記』である。よって、正解はオ。

③ 本居宣長の作品は、イ『源氏物語玉の小櫛』が正解。ア『世間胸算用』は井原西鶴、ウ『曽根崎心中』は近松門左衛門、エ『雨月物語』は上田秋成、オ『東海道中膝栗毛』は十返舎一九。

④ 本居宣長は国学の第一人者である。よって、正解はア。

⑤ 「芭蕉」とは「松尾芭蕉」のこと。ア『奥の細道』が正解。ウ『東海道中膝栗毛』は③で触れたように十返舎一九、エ『南総里見八犬伝』は滝沢馬琴、オ『方丈記』は鴨長明。

⑥ ③で見たように、本居宣長は『源氏物語玉の小櫛』の作者で、『源氏物語』の本質を「もののあはれ」と説いた。よって、正解はアとオ。

⑦ エ「鶴屋南北」は『東海道四谷怪談』の作者で国学者ではない。よって、正解はエ。

〔解答〕

① ウ　② オ　③ イ　④ ア　⑤ ア　⑥ ア・オ　⑦ エ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。